

PDCAチェックシート

実施年度	平成30年度	事務事業名	イノシシ等被害防止対策事業	担当課名	農林水産課		
【Plan】計画		【Do】実施・実行		【Check】点検・評価			
<p>■目的</p> <p>○イノシシ及びサル等の有害鳥獣による農林産物等の被害防止</p> <p>■成果指標(アウトカム・KPI) ※</p> <p>【目標値】</p> <p>①農作物被害金額の前年度比減 H29調査被害額 【県】 132,869千円 【市】 6,163千円</p> <p>○イノシシ等被害防止対策事業補助金</p> <p>②イノシシの捕獲頭数 790頭</p> <p>③サルの捕獲頭数 70頭</p> <p>④シカの捕獲頭数 40頭</p> <p>⑤狩猟免許の取得者数 6人</p> <p>○有害鳥獣被害対策助成金</p> <p>⑥ワイヤーメッシュ柵の設置延長 23,000m</p> <p>⑦電気柵等の設置延長 6,000m</p> <p>【参考:総合戦略KPI(27~31年度の累計)】</p> <p>②③イノシシ・サルの捕獲頭数 2,000頭</p> <p>⑤新規狩猟者数 10人</p> <p>【達成値(H30実績値)】</p> <p>①農作物被害金額の前年度比減 H30調査被害額 【県】 104,734千円 【市】 7,607千円</p> <p>○イノシシ等被害防止対策事業補助金</p> <p>②イノシシの捕獲頭数 840頭 (27年度～累計 2,403頭)</p> <p>③サルの捕獲頭数 87頭 (27年度～累計 506頭)</p> <p>④シカの捕獲頭数 162頭 (28年度～累計 360頭)</p> <p>⑤狩猟免許の取得者数 5人 (27年度～累計 15人)</p> <p>○有害鳥獣被害対策助成金</p> <p>⑥ワイヤーメッシュ柵の設置延長 3,265m</p> <p>⑦電気柵等の設置延長 260m</p>		<p>■具体的取組</p> <p>○イノシシ等被害防止対策事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ(成獣) 10,000円/頭 ・サル(成獣) 20,000円/頭 ・シカ(成獣) 15,000円/頭 ・狩猟免許の取得者助成 100,000円 <p>※幼獣の奨励金は、成獣の1/2とする。</p> <p>○有害鳥獣被害対策助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤーメッシュ柵の設置 510円/m ・電気柵等の設置 124円/m ・農業共済組合補助 1/2 <p>○鳥獣被害対策実施隊 隊員数24人</p> <p>■インプット(投入金額等)</p> <p>○イノシシ等被害防止対策事業補助金 11,920千円</p> <p>○有害鳥獣被害対策助成金 1,874千円</p> <p>○鳥獣被害対策実施隊員報酬 1,170千円</p> <p>■アウトプット(数量等)</p> <p>○イノシシ等被害防止対策事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付者数(捕獲) 60人 ・交付者数(免許取得) 5人 <p>○有害鳥獣被害対策助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付団体数(実団体) 10団体 <p>○鳥獣被害対策実施隊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隊員出動延べ人数 468人 		<p>■成果指標の具体的検証結果</p> <p>(インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載)</p> <p>①農作物被害金額の前年度比減 達成</p> <p>②イノシシの捕獲頭数 達成</p> <p>③サルの捕獲頭数 達成</p> <p>④シカの捕獲頭数 達成</p> <p>⑤狩猟免許の取得者数 達成</p> <p>⑥ワイヤーメッシュ柵の設置延長 未達成</p> <p>⑦電気柵等の設置延長 未達成</p> <p>【達成・未達成の原因】</p> <p>①本市における有害鳥獣による農作物の被害対策については、「寄せ付けない環境作り」「侵入防止施設の整備」「捕獲の奨励」の3本柱で積極的に取り組んでいる。特に、防護柵の設置に関しては、市内のほぼ全域にワイヤーメッシュ柵を設置したことによりイノシシ等の被害が大幅に減少した。また、本事業の効果については、農作物の被害金額が年々減少している結果のとおり一定の成果は得ていると評価している。</p> <p>②イノシシの捕獲頭数及び③サルの捕獲頭数 28年度から猟期中も含めて通年で有害捕獲を実施することとなり、また猟友会の積極的な捕獲活動により目標の捕獲頭数を上回る頭数を捕獲した。</p> <p>④シカの捕獲頭数 香川県ではシカの急増が予測されており、平成28年4月から有害捕獲奨励金の対象に追加された。本市においても年々捕獲数が増加しており、その対策として捕獲奨励金を増額した結果、目標の捕獲頭数を大きく上回る頭数を捕獲した。</p> <p>⑥ワイヤーメッシュ柵の設置延長 23年度より国の交付金事業や市単独事業を活用し、山間部を中心にほぼ市内全域にワイヤーメッシュ柵を設置した。その結果、助成件数も年々減少しており、今後は被害が出ている平野部における設置が必要となっている。</p> <p>⑦電気柵等の設置延長 27年度にメートル単価制に制度改正し助成金の拡充を図ったが、ワイヤーメッシュ柵の設置が先行し助成件数が伸び悩んでいる。イノシシ対策にはワイヤーメッシュ柵の設置が有効であるが、サル対策には電気柵の設置が有効であるため、今後は電気柵の設置を推進したい。</p>		<p>■検証結果を受けての具体的対応</p> <p>①農作物被害金額の減少 これまでの取り組みを継続するとともに、被害防止対策で一番の有効策は、有害鳥獣の絶対数を減らすことが最善であるため、現在高齢化及び減少している狩猟者の確保を図るよう、新規免許取得者に対する助成制度の周知を積極的に取り組んで行く。</p> <p>②③④イノシシ・サル・シカの捕獲頭数 捕獲効率の向上を図るようICT装置を活用した捕獲箱の設置及び実証の実施。</p> <p>⑥ワイヤーメッシュ柵の設置 ワイヤーメッシュ柵をより効果的に活用するためには維持管理が重要であり、今後は設置だけでなく周辺の維持管理の重要性を周知するよう取り組んで行く。</p> <p>⑦電気柵等の設置 サル対策には電気柵が有効であり、既存のワイヤーメッシュ柵の上部に電気柵の設置を推奨するとともに、必要に応じて制度改正を検討して行く。</p>	

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。